

令和2年第1回柳津町議会定例会会議録

第2日 令和2年3月3日（火曜日）

1. 出席議員は次のとおりである。

1番 松村 亮	6番 伊藤 純	9番 齋藤 正志
2番 新井田 順一	7番 田崎 信二	10番 鈴木 吉信
3番 岩渕 清幸	8番 菊地 正	11番 伊藤 昭一
5番 磯目 泰彦		

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により出席を求められ、出席した者は次のとおりである。

町 長 小林 功	建設課長 菊地 淳一
副町長 矢部 良一	保育所長 佐藤 清子
総務課長 金子 佳弘	教育長 神田 順一
出納室長 杉原 満	教育課長 横井 伸也
町民課長 新井田 理恵	公民館長 天野 美穂
地域振興課長 鈴木 秀文	

4. 会議に職務のため出席した者の職氏名。

議会事務局長 舩木 慎弥 主 査 鈴木 貴雄

5. 会議事件は次のとおりである。

日程第1	議案第21号	令和元年度柳津町一般会計補正予算
日程第2	議案第22号	令和元年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算
日程第3	議案第23号	令和元年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算
日程第4	議案第24号	令和元年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算
日程第5	議案第25号	令和元年度柳津町介護保険特別会計補正予算
日程第6	議案第26号	令和元年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算

- 日程第 7 議案第 27 号 令和元年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算
- 日程第 8 議案第 28 号 令和元年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算
- 日程第 9 議案第 29 号 令和元年度柳津町下水道事業特別会計補正予算
- 日程第 10 議案第 30 号 令和元年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算
- 日程第 11 議案第 31 号 令和元年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算
- 日程第 12 議案第 32 号 令和 2 年度柳津町一般会計予算
- 日程第 13 議案第 33 号 令和 2 年度柳津町土地取得事業特別会計予算
- 日程第 14 議案第 34 号 令和 2 年度柳津町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 15 議案第 35 号 令和 2 年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第 16 議案第 36 号 令和 2 年度柳津町介護保険特別会計予算
- 日程第 17 議案第 37 号 令和 2 年度柳津町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第 18 議案第 38 号 令和 2 年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算
- 日程第 19 議案第 39 号 令和 2 年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算
- 日程第 20 議案第 40 号 令和 2 年度柳津町下水道事業特別会計予算
- 日程第 21 議案第 41 号 令和 2 年度柳津町簡易排水事業特別会計予算
- 日程第 22 議案第 42 号 令和 2 年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算

◎開議の宣告

○議長

ただいまから本日の会議を開きます。（午前10時00分）

本日の議事日程はお手元にお配りのとおりであります。

これより議事に入ります。



◎議案の審議

○議長

お諮りいたします。

日程第1、議案第21号「令和元年度柳津町一般会計補正予算」

日程第2、議案第22号「令和元年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」

日程第3、議案第23号「令和元年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」

日程第4、議案第24号「令和元年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」

日程第5、議案第25号「令和元年度柳津町介護保険特別会計補正予算」

日程第6、議案第26号「令和元年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」

日程第7、議案第27号「令和元年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」

日程第8、議案第28号「令和元年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」

日程第9、議案第29号「令和元年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」

日程第10、議案第30号「令和元年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」

日程第11、議案第31号「令和元年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」

については、いずれも関連がありますので一括上程し議題といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第29号、議案第30号、議案第31号は一括上程し、議題といたします。

提案者に提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（登壇）

おはようございます。

提案理由の説明をいたします。

議案第21号「令和元年度柳津町一般会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要額の見込みによる歳入歳出予算及び継続費の補正、繰越明許費の設定、債務負担行為並びに地方債の補正であります。

次に、議案第22号「令和元年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第23号「令和元年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による事業勘定及び施設勘定の歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第24号「令和元年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第25号「令和元年度柳津町介護保険特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第26号「令和元年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正及び地方債の補正であります。

次に、議案第27号「令和元年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第28号「令和元年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第29号「令和元年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第30号「令和元年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

次に、議案第31号「令和元年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」について提案理由を説明いたします。

本案は、年間所要見込み等による歳入歳出予算の補正であります。

なお、詳細につきましては、総務課長より説明させますので、よろしくお願いをいたします。

○議長

補足説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（登壇）

おはようございます。

それでは、今回の補正予算につきまして補足してご説明を申し上げます。

まず、今回の補正予算につきましては、全会計につきまして歳入では額の確定に伴う増減、歳出におきましては今後の見込み等を考えまして、あとは歳入の減に伴う歳出の減というものもございまして、そのような形で計上させていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、まず1ページをお開きください。

議案第21号「令和元年度柳津町一般会計補正予算（第10号）」でございます。

既定の歳入歳出予算の歳入歳出それぞれ1億1,748万9,000円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ47億2,810万5,000円とするものでございます。

続きまして、第2条といたしまして継続費の補正でございます。

第3条といたしまして、繰越明許費をお願いするものでございます。

第4条といたしまして、債務負担行為の補正の変更をお願いするものでございます。

第5条につきましては、地方債の補正をお願いするものでございます。

6ページをお願いいたします。

継続費補正でございます。

土木費、住宅費、公営住宅等整備事業費でございます。本年度当初予算で設定しました継続費につきましては、年割額と総額が変更となりましたので、それに伴いまして継続費の補

正をお願いするものでございます。補正前が7億9,860万円を1,750万円減額になりましたので、7億8,110万円でございます。年割額につきましては、補正後で2億8,600万円となったところでございます。

続いて、次のページをお開きください。

第3表 繰越明許費でございます。

総務費、総務管理費、町勢要覧作成事業229万9,000円でございます。

農林水産業費、林業費につきましては、ふくしま森林再生事業として1,820万円でございます。

土木費につきましては、道路橋梁費としまして道路維持管理事業で400万円、同じく消雪設備維持管理事業としまして8,000万円、同じく五疊敷大成沢線改良事業で2,182万円となっております。また、鶉巣工業団地線改良事業につきましても4,700万円でございます。その下の道路ストック総点検事業につきましても1,750万円。その下の道路新設改良事業につきましても797万4,000円。

教育費におきましては、小学校費、柳津小学校ICT整備事業、これにつきましては令和元年度国の2次補正でなったものでございます。1,150万5,000円。同じく西山小学校ICT整備事業922万3,000円。会津柳津学園中学校ICT整備事業1,089万円でございます。

災害復旧費、農林水産施設災害復旧費、現年農地災害復旧事業でございます。1,506万円。同じく現年林業施設災害復旧事業4,934万円でございます。同じく現年公共土木災害復旧事業といたしまして1,075万3,000円。町単独災害復旧費、町単現年農地災害復旧事業でございます。295万7,000円。

合わせまして15事業15件、3億852万1,000円を翌年度に繰越明許として願いするものでございます。

続きまして、次のページをお願いいたします。

第4表 債務負担行為補正でございます。これにつきましては、柳津町住居用家屋新築及び増改築に係る利子の助成金でございます。19万6,000円を増額いたしまして、限度額を62万8,000円としたものでございます。

続いて、10ページでございます。

地方債補正でございます。

消防施設整備事業（緊急防災・減災事業債）でございます。1億8,890万円でございます。これにつきましては230万円減額いたしまして、1億8,660万円とするものでございます。

続いて、町営住宅整備事業でございます。これは過疎対策事業債を使っております。2億3,430万円を1,830万円、額の確定によりまして2億1,600万円とするものでございます。

過疎地域自立促進特別事業（過疎対策事業債）でございますが、6,230万円を510万円減額いたしまして5,720万円とするものでございます。

一番下でございます。校内通信ネットワーク整備事業（学校教育施設等整備事業債）でございますが、先ほど申したように新たに2,090万円が増額になったものでございます。

補正前につきまして10億6,040万円を480万円減額いたしまして10億5,560万円とするものでございます。

続いて、13ページをお開きください。

歳入でございます。

町税でございます。町税につきましては、個人町民税につきまして修正申告等により278万2,000円ほど増額しているものでございます。法人につきましては、一部企業の増収ということで法人町民税が900万円ほど増加したところでございます。

続いて、町税の固定資産税でございます。当初3年平均で算定しておりましたが、償却資産等の減額に伴いまして減額するものでございます。

続いて、その下の軽自動車税でございます。これにつきましても、額の確定によるものでございます。

同じく、その下のページでございます。

町たばこ税でございます。これにつきましては、見込みを立てさせていただきまして減額しているところでございます。

地方消費税交付金でございます。これにつきましては、額確定によりまして減額したところでございます。

分担金及び負担金の民生費負担金でございます。これにつきましては、額確定や見込みによる増額と減額になっております。

次のページでございます。

総務使用料につきましては、確定による増額になっております。

土木使用料につきましても、同じように収入見込みを確認いたしまして増額、減額したものでございます。

教育使用料につきましては、見込みを立てまして減額されたものでございます。

続いて、使用料及び手数料、手数料、総務手数料からその翌ページ、土木手数料までにつ

きましては、全て今後の見込みによる減額でございます。

国庫支出金、国庫負担金の民生費国庫負担金でございます。これにつきましては、事業の見込みが歳出で減額になっておりますので、それに合わせまして国の国庫負担金につきましてもルール上、2分の1減額となりますので、大きく減額になるものでございます。

続いて、17ページをお開きください。

災害復旧費国庫負担金でございます。これにつきましては、河川・道路災害復旧負担金の額の確定によりまして増額になるものでございます。

国庫支出金、国庫補助金、その中でも総務費国庫補助金につきましては、確定によるものでございます。

2番目にあります民生費国庫補助金でございます。これはプレミアム商品券の補助金ということで、確定になりましたので減額するものでございます。

同じく衛生費国庫補助金につきましても、確定による減額になります。

土木費国庫補助金につきましては、合併浄化槽が設置されなかったということで、その分減額となります。

教育費国庫補助金につきましては、先ほど申しました校内LANの整備という形で、令和元年度の2次補正でつきました町内の学校情報ネットシステムの補助金でございます。

続いて、消防費国庫補助金でございますが、額確定による減額となります。

続いて、総務費国庫委託金につきましては、額確定によるものでございます。

また、民生費国庫委託金につきましては、額確定による減額となります。

県支出金、県負担金、民生費県負担金につきましても、先ほどご説明しました国の国庫負担金と同様に、県のほうにつきましても4分の1減額となりますので、その分の減額となります。

続いて、19ページでございます。

県支出金、県負担金の総務費負担金でございます。これにつきましては、台風19号より職員等の超過勤務が加算されたということでその分の増額となります。

続いて、県支出金、県補助金でございます。総務費県補助金につきましては、主なものにつきましては、来てふくしま住宅取得支援事業、同じく、ふくしま移住支援金給付事業等県の補助でございますが、該当がありませんでしたので減額となります。

民生費県補助金につきましては、重度心身障害者等の補助金につきましては額確定による減額となります。

衛生費県補助金につきましては、風しん対策の補助金として件数が少なかったということで減額となります。

農林水産業費県補助金につきましては、額確定によるもので減額となります。

商工費県補助金につきましても、同じように風評被害対策の交付金の額確定によるものでございます。

土木費県補助金につきましては、合併浄化槽の設置がなかったということで減額となります。

続いて、教育費県補助金でございます。これにつきましては、サポート事業の額確定による減額となります。

県支出金、県委託金、総務費県委託金でございます。大きく減額になっているものは、選挙委託金でございます。これは県議会の選挙がなかったということで大幅に減額となっております。

土木費県委託金でございます。これにつきましては、確定による増額でございます。

続いて、教育費委託金でございます。これにつきましても、学校支援活動の委託金が今後見込みによりまして少なかったということで減額となるものでございます。

財産収入、財産運用収入、財産貸付収入につきましては、確定による減額でございます。

同じく寄附金につきましては、一般寄附金が増額になったということの増額でございます。

続いて、繰入金でございます。基金繰入金、基金繰入金でございます。1億980万円の減額となります。この主なものにつきましては、財政調整基金の繰入金が1億500万円の減額となります。また、雇用対策基金繰入金200万円、震災復興基金繰入金80万円、地域づくり推進基金繰入金につきましても、確定による減額となります。

諸収入、延滞金加算金及び過料、延滞金でございます。これも確定による増額となります。

諸収入、町預金利子につきましても、確定により減額となるものでございます。

続いて、諸収入、雑入でございます。494万円とふえているものにつきましては、雑入の下から4行目にございます後期高齢者医療広域連合派遣職員人件費等負担金でございます。これにつきましては、3月に確定したものでございまして、当初には見込んでいなかったものでございます。また、その下の災害見舞金でございます。柳津町が激甚災害に指定されたということで、見舞金をいただいたものでございます。

続いて、町債、町債でございます。町債につきましては、先ほど起債の部分で申し上げましたとおり、まとめますと480万円の減額補正をお願いするものでございます。

続いて、次のページをお開きください。

歳出でございます。

議会費、議会費、議会費でございます。議会費につきましては、今後の見込みや額の確定による減額となります。

続いて、総務費、総務管理費でございます。これにつきましては、額確定によるものと執行見込みによる減額となります。

文書広報費につきましては、区長連絡協議会が台風のために研修に行けなかったということで、また、研修先につきましても被災されたということで中止になったものでございます。

財政管理費につきましては、見込みと確定によるものでございます。

財産管理費も同じように確定によるものでございます。

企画費につきましては、次のページでございます。1,300万円ほどの減額となっております。これにつきまして大きなものとしたしましては、負担金補助及び交付金の中で、地域づくり推進事業費補助金、空き家対策、危険空き家、定住促進新築住宅補助金などの件数が少なかったために減額となるものでございます。

続いて、支所及出張所費につきましては、支所周辺の整備の説明会の回数増に伴いまして設計変更等ございましたので、その分の委託料の増額になります。

交通安全対策費につきましては、実績に基づき確定によりまして減額となるものでございます。

29ページでございます。

後継者緊急対策費につきましても、確定による減額となります。

諸費についても、同じように確定による減額となります。

電算管理費でございます。この大きなものにつきましては、庁内インフラ機器の整備費でございますが、予算よりも6割程度の入札率だったものですから、その分の減額となります。また、計算センター負担金につきましては、原価または計算センターの中でも繰り越した分につきましては不用になりましたので、その分の減額となります。

続いて、行財政改革推進費でございます。これにつきましても、確定によるものでございます。

続いて、庁舎管理費でございます。これにつきましては、需用費等の修繕費が不用になったということで額確定によるものでございます。

町民バス管理費でございますが、これにつきましては額確定によるものでございます。

続いて、総務費、徴税費、徴税総務費でございます。これにつきましては、額確定によるものでございます。

その下の賦課徴収費でございます。これにつきましては、町税等の徴収員の報酬でございますが、当初2名立てておりましたが、1名ということで1名分が減額になるものでございます。その分に伴うものでございます。

続いて、31ページ、総務費の戸籍住民基本台帳費でございます。これにつきましては、確定による減額となります。

同じく、選挙費でございます。選挙管理委員会費につきましては、額確定によるものでございます。

町長選挙費につきましても、同じように額確定によるものでございます。

3番目の町議会議員選挙費でございます。これにつきましては、3月22日に開かれます町議会の選挙に伴う異動前の期日前投票に伴う費用でございます。49万1,000円増額となります。

続いて、県議会議員選挙費でございます。これにつきましては、選挙が実施されなかったための減額となります。

続いて、参議院議員選挙費につきましても、確定によるものでございます。

続いて、民生費、社会福祉費、社会福祉総務費でございます。これにつきましては557万円ほど減額になっておりますが、主なものにつきましては、上から2番目の賃金、事務補助賃金が1人予定でしたが募集がなかったということと、19番の負担金補助及び交付金のプレミアム付商品券の補助金の減額に伴うものでございます。

続いて、老人福祉費でございます。これにつきましては、諸事業等の額確定による減額になっているところでございます。

国民年金費につきましては、財源の補正でございます。

障害者福祉費につきましては、大きく減額になっているところですが、これにつきましては、先ほどあったように扶助費の中の介護給付費等につきまして大幅に減額になったためでございます。また、次のページ、償還金利子及び割引料につきましては、実績に伴いまして償還金として498万8,000円を返還するものでございます。

民生費、児童福祉総務費につきましては、額確定によるものでございます。

続いて、柳津保育所運営費から西山保育所運営費につきましては、人件費等確定に伴います減額となります。

同じく児童措置費から学童保育費、母子福祉費までにつきましては、人件費の確定により  
ます減額となります。

衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費につきましては、主なものにつきましては国保会計  
(施設勘定)のほうに706万円繰り出すものでございます。

予防費として減額になるものにつきましては、主に次ページの委託料の減額と負担金補助  
及び交付金の中で健康づくり推進事業補助金、減塩の検査、または血圧計の補助がありまし  
たが、申し込みが少なかったということで減額となるものでございます。

環境衛生費でございます。これにつきましては、簡易水道事業の特別会計に繰り出すもの  
でございます。

母子保健費につきましては、次の40ページ、委託料として妊婦一般健診等の委託につつま  
しては実績見込みを勘案しまして減額するものでございます。

衛生費、清掃費、塵芥処理費につきましては、額確定によるものでございます。

農林水産業費、農業費、農業委員会費から、次のページ、農業者年金事務費までにつつま  
しては、額確定によるものでございます。

続いて、農業振興費でございます。大幅に減になっているものは、地域おこし協力隊が募  
集しましたが来なかったということの人件費等に伴うものでございます。また、負担金補助  
及び交付金につきましては、乾田・畑化対策事業と中心経営体農地集積事業補助金等につつま  
しても、申し込みが少なかったということで減額となるものでございます。

続いて、農地費でございます。農地費につきましては、町単農用地の整備事業補助金と多  
面的支払補助金の負担金でございますが、やはり該当が少なかったための減額となっている  
ものでございます。

続いて、43ページをお開きください。

同じく農林水産業費の地域農政特別対策事業費でございます。これにつきましては、人件  
費の確定によるものでございます。

続いて、農村総合整備費でございます。これにつきましては、農業集落排水事業の特別会  
計への繰出金と簡易水道の特別会計繰出金の減額によるものでございます。

国土調査費につきましては、次のページの委託料の中で、地籍調査を認証する請求事務の  
手数料ということで、請求事務が少なかったということで減額になるものでございます。

続いて、中山間地域等直接支払事業費につきましても、集落の補助金の確定によるもので  
ございます。

続いて、林業費、林業総務費でございます。これにつきましては、額確定によるものでございます。

その下の林業振興費でございます。これにつきましては、地域おこし協力隊が途中からということで、来た分の減額に伴いまして社会保険料等の減額となります。

続いて、46ページでございます。

林道維持費でございます。これにつきましては、緊急雇用創出事業の賃金等の額確定によるものでございます。

商工費、商工費、商工振興費につきましては、同じく負担金補助の中で起業者支援補助金等につきましても減額でございました。また、その次のページ、小規模事業者後継者支援事業補助金等も該当が少なかったということで減額となっております。

観光費につきましては、やはり同じく地域おこし協力隊の報酬ということで、募集したところ来なかったことに伴うものが主なものでございます。また、委託料の中でイベント運営業務委託料とございます。これにつきましては、台風19号によりまして赤べこまつりが中止になったものでございます。

続きまして、土木費の土木管理費、土木総務費でございます。主なものにつきましては、住まいづくり事業ということで、負担金補助及び交付金につきましては申し込みが少なかったということで減額になるものでございます。

防雪サブセンター管理費、また、その下の道の駅管理費につきましては、額確定による減額となるものでございます。

続いて、土木費の道路維持費でございます。これにつきましては、需用費にあります燃料費、暖冬によりまして除雪機械の燃料費が減額ということで減額させていただいているものでございます。

続いて、土木費の河川総務費でございます。これにつきましては、額確定によるものでございます。

続いて、土木費、都市計画費、下水道費でございます。これにつきましては、負担金補助及び交付金につきまして合併処理浄化槽設置事業の補助金の減額と下水道事業特別会計繰出金を行うものでございます。

土木費、住宅費、公営住宅管理費につきましては、工事請負費につきまして外構工事につきましては町のLED化を設置したことによりまして工事費が減額になったものでございます。

また、その下の公営住宅整備等事業費につきましても、工事請負費につきましてもは額確定によりまして公営住宅の建設工事の減額となったものでございます。

消防費、消防費でございます。消防費につきましてもは、次の51ページを開いていただきまして、これにつきましてもは額確定による減額となります。

その下の消防施設費でございます。消防費につきましてもは、備品購入費といたしまして消防積載車の購入の差金と可搬式小型ポンプの購入でございますが、B級からC級に変わったということと、それが2台ありましたということの減額となります。

防災費でございます。これにつきましても、額確定による減額となります。

教育費、教育総務費、事務局費でございます。これにつきましてもは、額確定によるものでございます。

続いて、教育費、小学校費でございます。これにつきましてもは、柳津小学校、西山小学校、西山中学校につきましてもは同じようにエアコンを昨年度設置いたしました。その分でエアコンを使った使用につきましてもは件数が少なかった分と、あと電気代につきましてもは光熱水費として減額するものでございます。また、小学校の学校振興費の中で工事請負費といたしまして同じように西山小学校、柳津中学校につきましてもは工事請負費として校内LANを整備するものでございます。ほかにつきましてもは、スキー教室をやるためにスキー場に行く経費等につきましてもは講師謝礼、車借上料等が減額になったものでございます。

続いて、55ページをお開きください。

教育費、社会教育費、社会教育総務費でございます。これにつきましてもは、主に報償費であります。子ども教室等の謝礼等が確定によりまして減額になったものでございます。

公民館費につきましても、同じように人件費等の確定によるものでございます。

文化財管理費につきましても、同じように額確定によるものでございます。

活性化施設管理費につきましてもは、修繕代の減額になったものでございます。

続いて、57ページでございます。

美術館管理費でございます。これにつきましてもは、地域おこし協力隊2名おりますが、途中から協力隊になったということで額の確定によりまして減額と、賃金でございます。事務補助賃金として1名お願いしていたところが、やはり1名減になったためでございます。

美術館事業費でございます。これにつきましてもは、額確定による減額となります。

続いて、教育費、保健体育費、保健体育総務費でございます。これにつきましてもは、額確定によるものでございますが、次の59ページでございます。これにつきましてもは、市町村対

抗のソフトボール大会につきましても台風19号により中止になったためでございます。

学校給食費につきましては、財源の補正でございます。

運動公園管理費につきましては、額確定による減額となります。

災害復旧費につきましては、財源補正だけしているところでございます。

予備費につきましては、1,332万1,000円を増額するものでございます。

続いて、62ページをお開きください。

議案第22号「令和元年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ1,000円を減額しまして、歳入歳出それぞれ3万4,000円とするものでございます。

67ページをお開きください。

雑入で補正、1,000円の減額となります。

続いて、68ページでございます。

歳出でございます。

宅地造成費ということで1万8,000円を減額し、また、予備費から1万7,000円を増額するものでございます。

議案第23号「令和元年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）」でございます。

既定の事業勘定の歳入歳出総額からそれぞれ591万4,000円を減額し、歳入歳出それぞれ5億3,135万9,000円とするものでございます。また、施設勘定につきましても、歳入歳出それぞれ149万円を減額しまして総額を歳入歳出それぞれ8,461万3,000円とするものでございます。

75ページをお開きください。

歳入となります。

これにつきましては、国民健康保険税の税確定による補正でございます。一般被保険者国民健康保険税、次のページにございます退職被保険者等国民健康保険税につきましても、確定による増減でございます。

続いて、次の77ページでございます。

県支出金、県補助金、保険給付費等交付金でございます。これにつきましても、額確定によります減額となるものでございます。

財産収入、財産運用収入の利子及び配当金につきましては、1,000円減額するものでございます。

繰入金、繰入金につきましては、保険基盤安定繰入金からその他を含めまして37万6,000円の減額となるものでございます。

続いて、78ページでございます。

諸収入、延滞金加算金及び過料につきましても、一般被保険者延滞金から退職までの見込みを立てまして増額になるものでございます。

同じく、諸収入、雑入、一般被保険者返納金・雑入につきましても、今後の見込み、税確定によりまして減額するものでございます。

その下の国庫支出金、国庫補助金の社会保障・税番号制度システム整備費補助金につきましては、確定により増額になったものでございます。

次のページをお願いいたします。

歳出でございます。

一般管理費につきましては、主なものにつきましては積立金といたしまして国保給付費の支払準備基金の積み立てといたしまして2,400万円を積み立てするものでございます。

総務費、徴税費につきましては、額確定によるものでございます。

総務費、運営協議会費、運営協議会費につきましても、額確定によるものでございます。

保険給付費、一般被保険者療養諸費につきましては、見込みによる減額となります。

また、その下にあります保険給付費の退職被保険者等療養諸費につきましては、今後の見込みによりまして減額するものでございます。

続いて、保険給付費の審査支払手数料でございます。これにつきましても、財源補正だけでございます。

保険給付費、退職被保険者等高額療養費につきましても、額確定による減額となります。

同じように、保険給付費の退職被保険者等移送費についても、同じように確定による減額となります。

出産育児諸費の出産育児一時金につきましては、2名のところ1名減という形で減額されているものでございます。

その下の保険給付費、葬祭諸費につきましては、財源補正でございます。

続いて、次のページでございます。

国民健康保険事業費納付金、一般被保険者分でございます。これにつきましては、財源の

補正でございます。

その下の保健事業費の特定健康診査等事業費でございます。これにつきましては、額確定による減額となります。

諸支出金、繰出金につきましては、へき地の直営診療所の補助金分の繰出金87万3,000円を減額するものでございます。また、国保会計（施設勘定）の繰出金に274万5,000円減額するものでございます。

予備費、予備費、予備費といたしまして2,257万2,000円を減額するものでございます。

89ページをお開きください。

施設勘定の歳入でございます。

診療収入につきましては、今後の収入見込みを見まして減額となっているところでございます。

繰入金につきましては、一般会計から706万円を繰り入れいたしまして、特別会計繰入金につきましては、特別調整交付金の繰り入れ分の減額に伴うものでございます。

次のページをお願いいたします。

歳出でございます。

総務費、施設管理費の一般管理費でございます。これにつきましては、額確定による減額でございます。その下につきましても、同じく額確定によるものでございます。

医薬費、内科医薬費、医薬用衛生材料費でございます。これにつきましても、額確定によるものでございます。

議案第24号「令和元年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）」でございます。

歳入歳出それぞれ39万9,000円を追加いたしまして、総額を5,214万8,000円とするものでございます。

96ページをお願いいたします。

歳入でございます。

後期高齢者医療保険料につきましては、額確定による増額となります。

繰入金につきましても、同じように保険基盤安定繰入金の減額によるものでございます。

次のページをお願いいたします。

歳出でございます。

広域連合納付金でございます。これにつきましては、額確定による増額でございます。

予備費といたしまして2,000円を減額するものでございます。

議案第25号「令和元年度柳津町介護保険特別会計補正予算（第5号）」でございます。

歳入歳出それぞれ464万8,000円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ5億7,265万1,000円とするものでございます。

103ページをお開きください。

歳入でございます。

保険料につきましては、確定による増額となります。

国庫支出金、介護給付費負担金につきましては、額確定による減額となります。

国庫支出金、国庫補助金、調整交付金につきましては、現年度の額確定によるものでございます。また、その下につきましても、今後の見込みによる減額となります。

続いて、104ページでございます。

支払基金交付金でございます。これにつきましても、介護給付費交付金の分が第2号被保険者分の確定による減額となります。

その下の県支出金、県負担金、介護給付費負担金につきましても、同じように確定による減額でございます。

県支出金、県補助金につきましては、同じように確定による減額、繰入金につきましては、一般会計繰入金としまして介護給付費の繰入金につきましては確定によるもの、その下につきましても同じように確定による減額となるものでございます。

次のページ、歳出でございます。

総務費、一般管理費でございます。これにつきましては、額確定によるものでございます。

総務費の介護審査につきましても、同じように額確定によるもの、またその下の保険給付費の介護サービスにつきましても、額確定によりまして減額、増額になるものでございます。

続きまして、保険給付費の特定入所者介護サービス等費でございますが、特定入所につきましても今後の見込み、増額になるということで、予防サービス費につきましても減額確定のものでございます。

保険給付費の介護予防サービス等諸費につきましても、今後の見込み、確定によりまして減額となるものでございます。

続いて、地域支援事業費でございます。包括的支援事業・任意事業費につきましても、額確定による減額となるものでございます。

諸支出金、償還金及び還付加算金、償還金につきましては、額確定によりまして1,232万

円ほど返還するものでございます。

予備費、予備費につきましては、1,140万3,000円ほど減額するものでございます。

続いて、110ページをお開きください。

議案第26号「令和元年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算（第7号）」でございます。

歳入歳出それぞれ297万6,000円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ1億5,336万9,000円とするものでございます。

115ページをお開きください。

歳入でございます。

加入負担金の水道負担金1件減になる確定によるものでございます。分担金につきましても、同じように確定によるものでございます。

使用料、簡易水道事業使用料につきましては、今後の見込みを踏まえて減額となるものでございます。

続いて、簡易水道手数料でございます。簡易水道手数料につきましては、確定によりまして減額となるものでございます。

繰入金、一般会計繰入金につきましては、108万6,000円を繰り入れるものでございます。

雑入といたしまして、消費税の還付がありましたのでその分の収入になります。

続いて、117ページ、歳出でございます。

簡易水道事業費の簡易水道事業費でございます。これにつきましても、同じように額確定によるものでございます。中で多かったのは、役務費の中の水質検査料と点検委託料等の減額が主なものでございます。

続いて、118ページをお願いします。

議案第27号「令和元年度柳津町町営スキー場特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ13万円を減額いたしまして、歳入歳出それぞれ950万円とするものでございます。

123ページをお開きください。

繰入金として、一般会計繰入金13万円を減額するものでございます。

次のページ、歳出でございます。

スキー場事業費の中で、同じように需用費から委託料までの13万円ということで減額する

ものでございます。

議案第28号「令和元年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算（第5号）」でござ  
います。

歳入歳出それぞれ377万3,000円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ1億165万  
1,000円とするものでございます。

131ページをお願いいたします。

歳入でございます。

分担金及び負担金、加入負担金につきましては、1名減という形で減額させております。  
使用料につきましても、同じように額確定による見込み等によるものでございます。

繰入金、繰入金につきましては、一般会計繰入金を6万5,000円ほど減額いたしまして、  
基金繰入金ということで農業集落排水事業の基金に繰り入れするものでございます。

雑入といたしましては、1,000円減額するものでございます。

次のページをお願いいたします。

歳出でございます。

総務費、施設管理費でございます。これにつきましては、事業確定による減額ということ  
でございます。主なものにつきましては、工事請負費の下水道接続工事につきまして1件実  
施できなかったということの見込みによる減額でございます。

予備費、予備費、予備費から20万8,000円を減額するものでございます。

続いて、135ページをお開きください。

議案第29号「令和元年度柳津町下水道事業特別会計補正予算（第5号）」でござ  
います。

歳入歳出それぞれ232万4,000円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ7,115万  
3,000円とするものでございます。

140ページをお開きください。

歳入でございます。

分担金及び負担金の加入負担金でございます。これにつきましても、加入負担金の確定に  
よる減額となります。

その下の公共下水道排水施設使用料でございます。これにつきましても、額確定、また見  
込みによる減額となります。

手数料につきましては、排水設備の指定工事の受けている手数料につきましては、町外の  
方が申請したということでふえているものでございます。

次のページ、繰入金、繰入金258万2,000円につきましては、一般会計からの繰り入れでございます。

諸収入、延滞金加算金及び過料につきましては、1,000円の減額でございます。

諸収入、雑入、雑入につきましては、主に下水道管の移設補償金としまして銀山川の河川の工事に伴いまして補償金が入るわけでしたが、とりやめになったための減額でございます。

続いて、歳出でございます。

施設管理費でございます。これにつきましては、委託料の中で設計委託料の差金と積立金の中で公共下水道の基金の積立金の減額になったものでございます。

予備費から160万7,000円減額するものでございます。

次のページをお開きください。

議案第30号「令和元年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

歳入歳出それぞれ2万円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ204万1,000円とするものでございます。

148ページをお開きください。

歳入でございます。

これにつきましては、簡易排水の施設料等の確定による増額でございます。

繰入金、繰入金、一般会計繰入金の減額確定のものでございます。

諸収入、延滞金加算金及び過料につきましては、1,000円減額するものでございます。

次のページでございます。

諸収入、雑入、同じように減額するものでございます。

続いて、歳出でございます。

総務費、施設管理費、施設管理費でございます。これにつきましては、確定による減額でございます。

続いて、次のページをお願いします。

議案第31号「令和元年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）」でございます。

これにつきましては、歳入歳出それぞれ18万2,000円を減額いたしまして、総額を歳入歳出それぞれ290万6,000円とするものでございます。

156ページをお開きください。

歳入でございます。

加入負担金につきましては、加入がなかったということで減額になります。

使用料につきましては、額確定によるものでございます。

諸収入につきましても、額確定によるものでございます。

次のページをお開きください。

歳出でございます。

総務費、総務管理費、施設管理費でございます。これにつきましては、額確定による減額となります。

予備費、予備費から8万4,000円の減額となります。

以上で補足しての補正予算の説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長

これより質疑を許します。

3番、岩淵清幸君。

○3番

1点だけ、確認のため質問させていただきたいと思います。

39ページ、衛生費の中で予防費の負担金補助及び交付金の中で、健康づくり推進事業補助金が93万8,000円減額になっておりますが、実は当初予算を見ましたら100万円でした。ということは、この差額6万2,000円だけの支出で終わってしまったのかというふうに思われますが。ただ、この事業が今年度初めて取り入れた事業だというふうに私は認識していたんですが、その辺のところの確認が1つと、もう一つは、結局これしか支出がなかったのは、少し知らない方が多かったのではないかというふうに思われます。私なんか、診療所に定期的に通って血圧を下げる薬を飲んでいますが、余り詳しく知らなかったということでございまして、せめて診療所にこういう張り紙とか、看護師の方に血圧の高い方は定期的にはかっ  
てくださいよ、こういう制度がありますからというような説明があってもよかったのではないかと考えておりますが、その辺についてと、もう一つ、来年度の予算にないんですけども、もうこれで終わりという考え方でよろしいでしょうか。

以上です。

○議長

答弁を求めます。

町民課長。

○町民課長

ご質問にお答えいたします。

健康づくり推進事業補助金につきましては、本年度から新規で行っている事業になります。100万円の予算をいただいたんですけれども、1件50万円が事業所向けの補助金、残り50万円が各世帯、1世帯当たり4,000円を上限とした血圧計と塩分測定器の補助金になっております。こちらについて、事業所については実績ゼロで、血圧計については今のところ11件の実績があったところであります。禁煙治療につきましては、PR不足もあったためゼロ件となっております。

補助金のお知らせについては、広報で補助金の一覧の中にはお知らせはしているところと単体でこの補助金についても広報でお知らせしているところではありますが、やはりPR不足もありまして、皆さんに使っていただくことができなかったということに結果なっております。

来年度については、禁煙治療の補助金については若干金額を減らした予算で計上させていただいております、健康づくり推進事業についても予算は計上しているところであります。

以上です。

○議長

3番、岩淵清幸君。

○3番

では、私の予算書のチェックミスだと思います。わかりました。これから継続されるならば、先ほど言ったような診療所の中のほうでも何かPRできるようなことがあればいいのかというふうに考えてございますので、よろしく申し上げます。

終わります。

○議長

ほかにございませんか。

1番、松村 亮君。

○1番

私からは2点ありまして、28ページの空き家関係の減額について。ほかの事業でも同様のケースがあるかと思うんですけれども、立てた事業に対して実施件数が少ないための減額というのがあると思います。9月の議会でも空き家対策に関しましては質問させていただきまして、町としましても前向きなご回答をいただいた経緯があることもありますので、来年度、

こういった形にできればならないように、もし促進の仕方に不十分なところがあったり、わからないところがあるのであれば、既存のルールに対して予算化するのも当然なんですが、専門家を招き入れてこの事業をきちんと促進していくことに対する予算化というのをお願いしたいと思っておりますが、その辺、総務課長、いかがでしょうか。

○議長

答弁を求めます。

総務課長。

○総務課長

それでは、お答えいたします。

空き家対策につきまして、やはりなかなか手を出しにくいところかと思えます。その方につきましては、やはり柳津町としてももっと空き家対策等の改修がしやすいような方策といたしまして、昨日町長が述べたように宅建業者をお願いしたりとか、そういうことで新たに町としても進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長

1 番、松村 亮君。

○1 番

ありがとうございました。

もう1点ですが、41ページ、47ページに協力隊関係の募集がないことについての減額というご説明があったかと思ひます。この事例に関しましては、余り募集がないということで減額が続いていきますと、じゃあ、いつそのことやめてしまえばいいんじゃないのというような話が出かねないなというふうに危惧しているところでございます。また、執行部側の観点から見ましても、余り議会で指摘されるようであればこの項目に対してはそもそも予算化をやめておきましょうというような後ろ向きな考えにもなるかもしれないので、いま一度お願いをしたいんですが、募集というのは、特に協力隊の募集というのは作業ではないので、人の3年間を町として預かるような事業であるという認識を持っていただきたいと思ひます。よその自治体に関してもやはり移住・定住に関しては、当町同様もしくはそれ以上に力を入れているところがほとんどでありまして、この問題に関しては、やはりきのうの一般質問でも移住・定住の話を出されている同僚議員がいらっしやいましたけれども、非常に大事な問題であるので真剣に取り組んでいただきたいと思ひます。

これに関しても、来年こういったことがないように、既存の募集の仕方のどこに問題があ

るかとか、そもそもこの募集の仕方でもいいのかとか、そういったところをきちんと精査して新しい募集の仕方なんかも模索していただきたいと思うんですが、主に担当されている地域振興課長に伺います。

○議長

地域振興課長。

○地域振興課長

ご質問にお答えいたします。

地域おこし協力隊、まず41ページの部分でございますが、今年度予算、これは農業関係ということで全額おりておりますが、実は先般、応募はございました。ただし、来年度に入ってしまうということで今回はおろさせていただきましたが、1名のところに対しまして2名、応募が既にございまして、今後そちらの方とまた審査をしていくというような形です。

また、47ページのそば打ち、地域おこし協力隊の報酬のほうが落ちておりますが、主に観光のほうですとそば打ち隊員という形で募集しておりました。問い合わせは数件ありましたが、なかなか募集までつながらなかったというようなことで、今、松村議員のご指摘ありましたとおり、募集の方法につきましても次年度の事業、今後、当初予算のご説明をいたしますけれども、その中でも若者向けという形でSNSの募集広告等につきましても来年度やっていきたいという形では思っております。

以上でございます。

○議長

1番、松村 亮君。

○1番

ありがとうございました。

両案件に関しましても、いま一度、先ほど申し上げましたとおり、こういった内容でいいのかとか、こういうやり方でいいのかというのを改めてウォッチしていただくこと、そして、せつかく予算を厳しい財政の中でとっている事業なので、有意義な予算執行をお願いしまして、私の質問を終わります。

○議長

ほかに。

7番、田崎信二君。

○7番

私のほうからは、ただいま1番議員からも質問があった内容と同じなのですが、27ページの総務企画費の中で補助金関係、交付金関係かなり、1,247万1,000円の減額だということでございます。あと、同じような内容で恐縮ですが、46ページの商工費の中の商工振興費、やはりこれも同じく起業者支援事業補助金ということで減額になっています。これは、町長初め我々議員もそうなのですが、まちづくりに対しての柱になるものではないのかなと。それが減額だということはどういうことなのか。PR不足か、それとも、詳細について、こんなことを言って失礼ですが、職員の方がマンネリ化してしまっているのかなという考え。ですから、やはりその辺をどのような内容でやっているのかが1点。

それから、同じく42ページの農林水産業費の中で農地費、その中の町単農用地整備事業補助金263万7,000円ほど減額になっているんですが、多分今までの経過を見てみますと、このような大きい減額はなかったのではないのかなというように感じられます。できれば、要望としましては、このように263万7,000円減額になるんだったら、農業費の中でもう少し使い勝手のよいようにほかの事業に回してやれば、やはり農家の方、かなり助かるのではないかなというふうに私個人的に感じられるので、その辺についてもお願いしたいと思います。

○議長

地域振興課長。

○地域振興課長

それでは、まず地域振興課管轄でございますが、46ページでございます。特に起業者支援事業補助金の減額、こちらのほうは確かに実績ゼロでございました。また、小規模事業者の後継者支援事業という形でも、本年度につきましては40歳以下だったものを50歳以下という形で年齢も引き上げましたが、なかなか利活用していただけなかったということで1件だけ。やはり少しPR不足もあるのかなと思うのと、内容につきまして、やはり使いづらい部分があったのかというふうに反省しております。

新年度につきましては、その内容につきましても使いやすいような形でやって、また、商工会等その辺をよく説明して事業者なりやりたい人が出てきた場合にはそちらをPRしていただくということも考えてございます。

もう一つ、42ページの町単農用地等整備事業補助金でございますが、こちらのほうにつきましては、当初予算で地区から要望をとりましてやったところなのですが、中山間地域の直接支払のほうで事業を組み替えてやったということで、地区のほうで、そちらのほうでこちらのほうは減額になったということでございます。

以上でございます。

○議長

7番、田崎信二君。

○7番

今、課長答弁しましたが、私は町長から答弁していただきたい。まちづくりのために多分町長も公約に上げているのではないかとということで、やはりこれだけ町の補助金なり交付金を予算化していますので、それで減額だというのはどういうことなのか。その辺、町長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

○議長

町長。

○町長

まず、起業者の支援事業補助金につきましては、こういった起業したいという方に直接的に補助をしていくというのも1つかと思うんですが、例えば、昨日来、歴まちをして町並みをきれいにしていこうというような取り組みを進めていく中で、こういう町なか、町並みであれば店を出してみたいとか、何かやってみたいとか、そういうような思いを持ってもらうというのが、私は大事だと思うんです。やはりこれだけ補助、支援があるから、じゃあ何か、何やっか決まってねえけど何かとりあえずやってみるか、では、なかなか事業としても成功はできないというふうに思いますので、少し見方を変えてそういった取り組みもやっていきたいと思っています。

空き家に対するかなりの減額が出ておりますけれども、まず原因としては補助金の単体の、単価と言っているのかわかりませんが、1軒当たりの補助金額がかなり大きいということから少し目立っているという部分もあるんですが、きのうの話にも出ましたけれども、空き家をどういうふうにして利活用していくんだということをもう少し突き詰めていかないと、いろんな意味で補助金のつけ方というのは考えていかなければいけないと、そんなふうに思っております。

以上です。

○議長

7番、田崎信二君。

○7番

簡単に言えば、もう少し使い勝手がいいような方向で検討していただきたい。

先ほどの農用地関係は、中山間直接支払制度に移行したのでこういうふうに減額になったんだというふうにとられるんですが、今後も多分同じような傾向が進むと思いますが、ただ、中山間直接支払制度も離れるというか、抜ける地区も結構少しずつふえているような経過が見られますので、やはりそういう地域に対しては、こういう農地整備事業を利活用できるようなPRをしてやっていただきたいと要望しておきたいと思います。

以上です。

○議長

ほかにございませんか。

(「質疑なし」という声あり)

○議長

これで質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第21号「令和元年度柳津町一般会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第22号「令和元年度柳津町土地取得事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第23号「令和元年度柳津町国民健康保険特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第24号「令和元年度柳津町後期高齢者医療特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第25号「令和元年度柳津町介護保険特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第26号「令和元年度柳津町簡易水道事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第27号「令和元年度柳津町町営スキー場事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第28号「令和元年度柳津町農業集落排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第29号「令和元年度柳津町下水道事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第30号「令和元年度柳津町簡易排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

お諮りいたします。

議案第31号「令和元年度柳津町林業集落排水事業特別会計補正予算」についてを原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◇

◇

◇

○議長

ここで暫時休議します。

再開は11時30分といたします。（午前11時17分）

○議長

それでは、議事を再開いたします。（午前11時30分）

◇ ◇ ◇

○議長

お諮りいたします。

日程第12、議案第32号「令和2年度柳津町一般会計予算」

日程第13、議案第33号「令和2年度柳津町土地取得事業特別会計予算」

日程第14、議案第34号「令和2年度柳津町国民健康保険特別会計予算」

日程第15、議案第35号「令和2年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」

日程第16、議案第36号「令和2年度柳津町介護保険特別会計予算」

日程第17、議案第37号「令和2年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」

日程第18、議案第38号「令和2年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」

日程第19、議案第39号「令和2年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」

日程第20、議案第40号「令和2年度柳津町下水道事業特別会計予算」

日程第21、議案第41号「令和2年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」

日程第22、議案第42号「令和2年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」

については、いずれも関連がありますので、一括上程し、議題といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第32号、議案第33号、議案第34号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号、議案第42号は、一括上程し、議題といたします。

提案者に提案理由の説明を求めます。

町長。

○町長（登壇）

議案第32号「令和2年度柳津町一般会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度の一般会計予算を歳入歳出それぞれ46億5,000万円とするものであります。

次に、議案第33号「令和2年度柳津町土地取得事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度の土地取得事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ2,002万6,000円とするものであります。

次に、議案第34号「令和2年度柳津町国民健康保険特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度国民健康保険特別会計予算を事業勘定で歳入歳出それぞれ4億9,450万円とするものであり、施設勘定につきましては、歳入歳出それぞれ7,630万円とするものであります。

次に、議案第35号「令和2年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度後期高齢者医療特別会計予算を歳入歳出それぞれ5,630万円とするものであります。

次に、議案第36号「令和2年度柳津町介護保険特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度介護保険特別会計予算を歳入歳出それぞれ5億5,000万円とするものであります。

次に、議案第37号「令和2年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度簡易水道事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ1億7,630万円とするものであります。

次に、議案第38号「令和2年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度の町営スキー場事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ341万円とするものであります。

次に、議案第39号「令和2年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度農業集落排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ8,070万円とする

ものであります。

次に、議案第40号「令和2年度柳津町下水道事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度下水道事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ7,750万円とするものであります。

次に、議案第41号「令和2年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度の簡易排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ220万円とするものであります。

次に、議案第42号「令和2年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」について、提案理由を説明いたします。

本案は、令和2年度林業集落排水事業特別会計予算を歳入歳出それぞれ280万円とするものであります。

なお、詳細につきましては、総務課長より説明させますので、よろしくご審議をお願いいたします。

○議長

補足説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（登壇）

それでは、令和2年度の当初予算につきまして補足してご説明を申し上げます。

予算説明書になりますが、当初予算の総額につきましては、一般会計予算46億5,000万円、特別会計を含みますと61億9,003万6,000円となります。前年比につきましては、相対的に1億1,517万3,000円、前年度比1.9%ふえている状況になっているところでございます。

総括いたしまして、昨年度まで報酬につきましては、会計年度職員という報酬が皆増になっております。また、地方公務員法が改正されたことによりまして、前年度まで7節にありました賃金につきまして計上しておりましたものにつきましては、全て皆減になっておりますので、ご了承をお願いしたいと思います。

それでは、令和2年度の11議案につきまして補足してご説明申し上げます。

1ページをお開きください。

議案第32号「令和2年度柳津町一般会計予算」でございます。

歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ46億5,000万円とするものでございます。第2条として債務負担行為をお願いするものでございます。第3条で地方債の設定をお願いするものでございます。第4条では一時借入金を9億円という形で、当初予算の2割相当という形で定めているものでございます。

8ページをお開きください。

第2表の債務負担行為でございます。これにつきましても、柳津町居住用家屋新築及び増改築に係る利子の助成金を46万8,000円と設定するものでございます。

次のページをお願いいたします。

地方債でございます。地方債の目的、限度額を申し上げます。

広域消防負担金事業350万円、消防施設整備事業670万円、町道五疊敷大成沢線整備事業2,000万円、急傾斜地崩壊対策事業400万円、消防施設整備事業1,780万円、スクールバス整備事業940万円、過疎地域自立促進事業につきましては5,390万円、公共施設再編事業1億6,290万円、町営住宅整備事業4億9,720万円、除雪機械整備事業2,040万円、トンネル修繕事業3,580万円、消防施設整備事業1,290万円、広域消防負担金事業250万円、美術館施設改修事業4,400万円、会津柳津学園中学校施設改修事業610万円、滝原ごみ処理場管理負担金事業250万円、保育所改修事業1,690万円、ライスセンター整備助成金事業1,470万円、産地パワーアップ事業負担金事業990万円、会津柳津駅前整備事業2,560万円、温泉供給施設整備事業780万円、緊急浚渫推進事業430万円、過年補助災害復旧事業3,610万円、臨時財政対策5,900万円でございます。これらにつきましては、合計で10億7,390万円、昨年度は10億5,170万円、2,220万円増額ということで見込んでおります。

続いて、16ページをお願いいたします。

歳入でございます。

町税でございます。町税につきましては、個人税、法人税につきましても本年度の実績見込み、また、西山の電力関係の事業者の増を見込みまして計上しております。

町税の固定資産税でございます。これにつきましても、昨年度の減価償却の減を見込み減額しております。固定資産税の交付金及び納付金につきましては、本年度の実績を見まして増額を見込んでおります。

町税の軽自動車税でございます。車的には金額は変わっておりませんが、新車になった場合に環境性能割というのがふえるようになりましたので、その分で増減はございます。

町たばこ税につきましては、税改正に伴うものと今後の見込みを見まして増額を見込んで

おります。

町税の入湯税でございますが、毎年少しずつ減少傾向でございますので、それを勘案しまして減額しております。

地方譲与税の地方揮発油譲与税でございます。本年度の実績見込みを勘案して減額しております。

地方譲与税の自動車重量譲与税につきましては、今年度を見込みまして増額しております。

地方譲与税の森林環境譲与税でございますが、今年度より皆増となりましたので、よろしくお願ひしたいと思います。

続いて、利子割交付金につきましては、今年度の実績を勘案しまして減額しております。

配当割交付金につきましては、今年度を見込んで減額となっております。

株式等譲渡所得割交付金の株式等譲渡所得割交付金につきましては、今年度を見込んで増額しております。

地方消費税交付金、地方消費税交付金につきましては、消費税の増額に伴いまして増額を見込んでおります。

環境性能割交付金につきましては、今年度の予算と状況を見ながら、前にありました自動車取得税の分でございますが、減額を見込んでおります。

地方特例交付金につきましても、減収補てん特例交付金を見ながら増額しております。

同じく、地方交付税につきましては、今後の見込みを見まして増額を予定しております。

交通安全対策特別交付金につきましては、今年度を勘案しまして減額しているところでございます。

続いて、災害復旧費分担金でございます。これは昨年と変わりございません。

分担金及び負担金の負担金でございます。民生費負担金につきましては、前年度事業の見込みを勘案して減額になっているところでございます。教育負担金につきましては、前年度を勘案しながらやっているところでございます。

総務使用料から教育使用料につきましては、現年度を勘案しながらやっているところでございます。ただ、教育費の中で美術館入館費につきましては若干減らしているということで、90万円ほど減額しているところでございます。

続いて、23ページです。

商工使用料につきましては、前年並みでございます。

使用料及び手数料、手数料につきましては、前年度を見込みまして減額しているところで

ございます。土木手数料につきましても、同じように屋外広告物の手数料が3年に一遍ということで減額となっております。

国庫支出金、国庫負担金の民生費国庫負担金でございます。これも前年度事業の見込みがやはり減少となっておりますので、それに伴いまして国庫負担金が2分の1という形で減額となっているところでございます。

続いて、次のページでございます。

災害復旧費国庫負担金でございます。これにつきましては、昨年度台風19号により被災したところでございますが、当初予算で皆増という形で上げさせていただいたものでございます。

国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金でございます。これにつきましては、昨年度西山支所の改修工事がございましたので、その分で2億6,000万円ほど減額になっているところでございます。

衛生費国庫補助金につきましては、昨年度と同様でございます。

その下の衛生費国庫補助金でございますが、これにつきましては、疾病予防対策補助金等を勘案しまして減額となります。

土木費国庫補助金につきましては、これも同じように雪寒機械の購入事業という形で、今年につきましては過疎債を充当しておりますので、その分で1,000万円ほど減額となっているところでございます。

教育費国庫補助金でございます。これにつきましては、へき地児童のスクールバス購入補助事業につきまして昨年度450万円を見込んでおりましたが、今年度は180万円ということでその差額260万円でございます。

消防費国庫補助金は前年度と同じでございます。

商工費国庫補助金につきましては、会津柳津駅のトイレ改修に伴いまして訪日外国人旅行者受入環境整備ということの補助金を皆増という形で上げさせております。

国庫支出金、国庫委託金、総務費国庫委託金につきましては、昨年並みでございます。民生費国庫委託金につきましても、昨年度を見ながら前年並みでございます。

続いて、民生費県負担金でございます。400万円ほどの減額となっております。これにつきましては、国の負担金と同様に、障害者福祉費負担金からの障害者の分の支出減に伴いまして減額を見込んだところでございます。

衛生費県負担金、土木費負担金につきましては、同様でございます。

県支出金、県補助金、総務費県補助金でございます。120万円ほど少なくなっているものでございます。これにつきましては、電源立地の交付金につきましては320万円ほど減額になっております。それに伴って生活バスの運行費補助金が110万円ほど増額になったものでございます。

民生費県補助金でございます。これにつきましては、昨年と同様でございます。

衛生費県補助金につきましては、200万円ほど減額になっておりますが、これにつきましては風しん対策事業の補助金という形で風疹の分の減額となっております。

続いて、農林水産業費県補助金でございます。金額的にふえております。これにつきましては、林業費補助金で森林環境税交付金が160万円ほどふえております。また、ふくしま森林再生事業が1,500万円ほどふえておりますので、その分の増額になるものでございます。

商工費県補助金につきましては、880万円ほどふえておりますが、その内訳としまして、観光費補助金、一番上の新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業、また、2つ下の福島県地域創生サポート事業につきましても400万円ほど増加になっております。また、その下の県の自然公園の施設整備補助金につきましても156万円ほど増額になっているものです。主なものについては、そのものでございます。

続いて、土木費県補助金は、昨年と同様でございます。

教育費県補助金につきましては、サポート事業の補助金を262万5,000円ほど増額を見込んでいるものでございます。

県支出金、県委託金、総務費県委託金につきましては、1,000万円ほどの減額になっております。これにつきましては、昨年度ありました参議院選挙と県議会選挙で1,200万円でございます。その減額と今年度につきましては国勢調査の委託金がふえるということでございます。

続いて、県委託金につきましては前年と同様でございます。

続いて、県委託金の土木費県委託金でございます。これにつきましても、昨年同様でございます。

教育費委託金につきましては、学校事務の委託金と学校支援事業の委託金が減っているという見込みで減額となっているところでございます。

財産収入、財産運用収入につきましては、今年度の見込みを見まして減額となっているところでございます。利子及び配当金につきましても同じものでございます。

財産収入、財産売却収入につきましても同様でございますが、一番下の物品売却でございます。これにつきましては、公用車の処分売却料ということでございますが、除雪ドーザと路線バス1台分を見込んだものでございます。

寄附金、寄附金につきましては、一般寄附金に130万円、教育費寄附金2万円ということで計上しております。昨年と同様でございます。

繰入金につきましては、同じく昨年と同様でございます。

次のページ、繰入金、基金繰入金でございます。

財政調整基金につきましては先ほど説明した中でございますが、もう一度説明させていただきます。財調につきましては、同じように2億4,000万円でございます。

雇用対策基金繰入金につきましては1,420万円、これにつきましては緊急雇用対策事業でございます。

公共施設整備基金繰入金につきましては、住宅、支所再編工事等の2億円でございます。

震災復興基金繰入金については2,420万円でございます。これは風評被害対策等でございます。

地域づくり推進基金繰入金200万円、これにつきましては、地域づくり推進補助金でございます。

子ども子育て基金繰入金については、500万円でございます。これにつきましては、子ども子育て応援金でございます。

国際交流基金繰入金につきましては、ことし海外派遣がございますので、それに伴うものでございます。

森林環境譲与税基金繰入金につきましては、意向調査を行うものでございます。

森林環境基金繰入金につきましては、森林の環境整備でございます。266万3,000円。

土地開発基金繰入金につきましては、2,000万円でございます。これは、今年度宅地造成を考えているところでございます。

減債基金繰入金につきましては、5,000万円でございます。これは公債費等でございます。本年度5億6,944万6,000円、昨年度につきましては、1億7,904万6,000円の増額となっております。

続いて、繰越金でございます。昨年同様でございます。

諸収入につきましては、前年度見込みで減額となっております。

諸収入についても、同じように昨年同様でございます。

諸収入の貸付金元利収入につきましては、昨年同様でございます。

続いて、奨学資金貸付金元利収入につきましては、元金の見込みにより減額となっております。

諸収入の雑入でございます。昨年同様でございます。雑入の中に昨年度よりふえたということで、2番目の検診受益者納付金ということで後期高齢者の検診事務費が昨年度の230万円から500万円ほど増加しております。また、その下の負担金の補助分の中で、雑入の中の36ページ、上から8行目、美術館の収入につきましては350万円ほど減額させていただいております。

また、次の37ページの福島県後期高齢者の広域連合保険金のインセンティブということで100万円と、先ほど補正で漏れました後期高齢者医療の連合の職員の派遣分の人件費等がふえておりますので、それが雑入のふえた分の主なものでございます。

町債、町債、総務債につきましては、1億1,010万円ほど減額になっております。これにつきましては、支所の公共施設の再編事業、昨年度より1億650万円ほど減額になっておりますので、その分でございます。

土木債につきましては、町営住宅の過疎対策事業債のほうで1,833万円ほどふえております。また、除雪機械に伴いまして1,240万円、トンネル改修につきましては同様でございますが、この点で増額になっているところでございます。

消防債につきましては、緊急防災・減災事業債の中で昨年度防災無線を行いました、この分で1億8,220万円ほど減額になったものでございます。

続いて、教育債でございます。教育債につきましては、スクールバスの事業債として490万円ほど増加になっております。また、美術館の改修事業債としまして消火器を使うということで4,400万円の増額になっているところでございます。

臨時財政対策債につきましては、1,500万円の減額になっております。

衛生債につきましては、滝原ごみ処理場の負担金の事業債、民生債につきましては、保育所のエアコンの改修ということで事業債、農林水産業債につきましては、ライスセンター整備事業、産地パワーアップ事業の事業債でございます。

観光商工債につきましては、会津柳津駅前整備事業債と温泉、これは荒湯のポンプの事業債ということで改修費でございます。

災害復旧債につきましては、過年債の公共土木を計上しているところでございます。

本年度につきましては、10億7,390万円で、比較として2,220万円ほど増額となっております。

す。

続いて、次のページ、歳出でございます。

議会費でございます。議会費につきましては、内容を精査したところ減額となっているところでございます。昨年度は備品購入費がありましたので、その分で減額となっております。

総務費の総務管理費でございます。これにつきましては、会計年度任用職員という形でふえて、その分が報酬として上がっているところでございます。並びに職員手当の増、共済費につきましても全ての分が入っておりますので、その分で増額となっております。もう一つ、43ページの17番に備品購入費とあります。役場に今8人乗りの庁車がありますが、それにつきましては10年以上たっておりまして、走行距離も相当走っているということで、庁車を1台購入したいということで1台上げさせていただいているところでございます。

文書広報費につきましては、昨年同様でございます。

財政管理費につきましては、3,000万円ほど増額となっておりますが、これにつきましては、人件費等もございまして、45ページの繰出金で土地取得会計特別会計事業という形で造成のほうに2,000万円という形で上げさせていただいたところでございます。

続いて、会計管理費につきましては、昨年同様でございます。

財産管理費につきましては、若干ふえております。委託料としまして、委託料の2番目でございます。公共施設の延命化、長寿命化に伴いまして、個別施設の計画策定業務がございます。これがふえたものでございます。

続いて、企画費でございます。企画費につきましては、昨年同様でございます。

7番目の支所及出張所費、49ページでございます。これにつきまして主な原因といたしましては、昨年度工事請負費につきまして6億2,700万円ございましたが、その分の4億4,000万円ほど減額になるものでございます。

交通安全対策費につきましては、昨年同様でございます。

続いて、51ページ、後継者緊急対策費でございます。これにつきましても、昨年同様でございます。

諸費につきましても、同じようでございます。

土地利用計画策定費も、同じでございます。

電算管理費でございます。これにつきましては、880万円ほど減額になっておりますが、昨年度庁内のパソコン、地域イントラ整備に伴いまして、その分の減額がございます。1,300万円ほど減額になりましたが、今年度につきましては、計算センターの負担金が550万

円ほどふえていますので、その差額となります。

行財政改革推進費につきましては、昨年と同様でございます。

庁舎管理費でございます。庁舎管理費につきましては、役場脇にあります、役務費の中にあります産業廃棄物の処理分でございます。この分と、12番委託料、産業廃棄物処理委託ということで、県のほうの指導を受けまして焼却炉の処分をしてくださるということでありましたので、その分でふえているものでございます。

続いて、町民バス管理費でございます。これにつきましては、現在、スクールバスと町のバスの割合ですが、町が65、スクールバス35ということでございますが、中身、今のスクールバスの児童数を勘案しまして町が80%を持つと。スクールバス、学校費では20%を持つという形で増額になったものでございます。

続いて、56ページ、賦課徴収費でございます。これにつきましては、鑑定評価が昨年度ございましたので、その分の減額となっているところでございます。

続いて、57ページの総務費、戸籍住民基本台帳費でございます。これにつきましては、58ページの備品購入費ということで、役場の戸籍システムをクラウド化という形で委託するという形でございます。その分の備品購入費がふえているものでございます。プラス、計算センターの負担金がやはり300万円ほどふえているものでございます。

総務費、選挙費でございますが、昨年と同様でございます。町長選挙費から参議院選挙費までは、今年度予定がございませぬので皆減となります。

総務費、統計調査費につきましては、増額になっております。これにつきましては、統計調査員の報酬費と職員手当の若干増減になっているところでございます。

監査委員費については、昨年同様でございます。

続いて、民生費、社会福祉費でございます。これにつきましては、職員の増を予定しているものでございます。

続いて、63ページ、老人福祉費でございます。1,100万円ほどふえているものにつきましては、委託料で測量委託料、これは福柳苑の測量委託とその調査委託料という形で2つございます。また、一番ふえているのは、一番下の64ページの負担金補助及び交付金でございます。これにつきましては、後期高齢負担金補助が600万円ほどふえております。また、65ページの繰出金におきまして、介護の特別会計への繰出金に211万6,000円ほどふえております。また、後期高齢の繰出金につきましても100万円ほどふえているものでございます。

国民年金費につきましては、人件費によるものでございます。

障害者福祉費につきましては、減額になっておりますが、これにつきましては、主なもので67ページの扶助費、先ほど申しましたように、介護給付費等が1,500万円ほど減額になっているということでございます。

民生費、児童福祉費につきましては、昨年同様でございます。50万円減っているものにつきましては、昨年度備品購入したものが今年度はないということでございます。

柳津保育所運営費でございます。これにつきましても、先ほど申しました年度会計任用職員とそれに伴うものでございます。一番多いものは、70ページの工事請負費でございます。これにつきましては、柳津保育所のエアコンが壊れているということで、至急直したいということでこの分の増額が主なものでございます。

続いて、西山保育所運営費でございます。これにつきましては、調理員報酬等を含め人件費によるものでございます。あと備品購入としまして、新たに保育所が西山支所のほうに移転するというので、施設にかかわる洗濯機等の備品購入でふえているところでございます。

児童措置費でございます。これにつきましては、報酬等の賃金等によるものでございます。扶助費につきましても、450万円ほど減額になったものでございます。

学童保育費につきましては、前年と同じでございます。

母子福祉費につきましても、前年と変わりございません。

民生費、災害救助費についても、昨年同様でございます。

衛生費、保健衛生総務費につきましては、800万円ほどの増額となっておりますが、これにつきましては、新たに保健師等の職員が入るということでございます。また、次の75ページの繰出金につきましても、国保事業会計のほうに158万8,000円ほど増額の繰り出しということでございます。

予防費につきましては、委託料の中でいろいろ委託している中で190万円ほど増額になったものでございます。備品購入費につきましては、タニタの体脂肪計を買うということで計上させていただいております。

環境衛生費でございます。1,900万円ほどふえるということでございます。これにつきましては、簡易水道事業の特別会計繰出金のほうに1,900万円ほど増額になるということでございます。

母子保健費でございます。母子保健費につきましては、委託料でシステム改修等の委託料が減額になったものでございます。

続いて、79ページ、衛生費でございます。清掃費がふえております。これにつきましては、

一般粗大ごみの回収につきましては全地区におきまして週に2回収するというものに伴いましてふえたものでございます。244万9,000円ほどふえております。また、衛生処理費でございますが、これにつきましても、滝原ごみ処理場の管理負担金が346万5,000円ほど増額になっておりますので、これに伴うものでございます。

農林水産業費、農業費、農業委員会費につきましては、人件費等の見込みによるものでございます。

続いて、農業者年金事務費はございません。

農業総務費につきましても、昨年同様でございます。

農業振興費につきましては、昨年よりもふえております。これにつきましては1名、農業の担い手をふやすということと、84ページにございますが、負担金補助及び交付金の中で新たに地域農業担い手支援事業ということでライスセンター分がふえているものでございます。

続いて、85ページの農地費でございます。昨年度よりも落ちているものにつきましては、工事請負費で道路維持のために200万円ふえておりますが、負担金補助及び交付金につきましては、土地改良区の補助事業等と町単の農用地事業につきまして、改良区につきましても220万円ほど減額、町単につきましても80万円ほど減額です。多面的支払交付金につきましても、事業者が減ったために130万円の減額ということになっております。

続いて、地域農政特別対策事業費でございます。これにつきましては、昨年同様でございます。

続いて、87ページ、農村総合整備費につきましても、昨年よりは繰出金の分が減っているという状況でございます。

国土調査費につきましても、事務員の補助という形で、国土調査がなかなか終わらないということで事務補助員を1名つけて専門的にやらせたいということでございます。

中山間地域等直接支払事業費につきましては、職員が正職員からパート職員に変わったというものと人件費等ということでございます。また、89ページにございます負担金補助及び交付金の中で、集落補助金につきましては団地数が22と減るもので、129万2,000円ほど減額となるものでございます。

農林水産業費、林業費、林業総務費でございます。これにつきましては、昨年同様でございます。

林業振興費につきましては、増額になったものでございます。これにつきましては、91ページの委託料でございます。委託料の中で、やはり森林整備委託料が昨年よりもここで

2,500万円ほどふえている、調査委託料についても558万2,000円ということで、森林の意向調査が入っておりますので、その分でふえているものでございます。また、電気柵補助事業ということで個人分と集落分の、イノシシがふえているということで、これにつきましても100万円ほど補助金がふえていると。また、下から2番目にあります鳥獣被害農地畦畔の修繕補助事業につきましても、100万円増加しているものでございます。

続いて、林道費でございます。林道費につきましては、今現在、職員による給料等の実績等で上げさせていただいております。

続いて、林道維持費でございます。増加した理由につきましては、やはり道路維持作業をするために工事請負費として人を今、6名から8名にふやすという部分と、工事請負費が道路維持修繕工事費として450万円ほど増額したのものによるものでございます。

続いて、農林水産業費でございます。昨年同様でございます。

続いて、商工費の商工振興費でございます。減額になったものにつきましては、負担金補助及び交付金ということで95ページ、96ページにございますが、この中で96ページの下から2番目で企業立地支援事業補助金につきましては、昨年度500万円だったところが250万円ということで減額になったものでございます。

観光費につきましては、ふえておりますが、ここにつきましては人件費による増がございます。また、99ページ以降でございますが、負担金補助及び交付金につきましては、95、99、100ということで、主にふえたものは100ページの観光協会の補助金、風評被害対策ということで70万円ふえております。また、観光協会の補助金として350万円ほどふえているものでございます。

続きまして、土木費でございます。101ページ、土木管理費でございます。土木総務費につきましては、昨年同様でございます。

防雪防災サブセンター管理費につきましては、昨年度小ノ川のシャッターを改修した分が300万円ございましたので、その分の減額でございます。

続いて、103ページの道の駅管理費でございます。これは昨年同様でございます。

土木費、道路橋梁費でございます。道路維持費としまして、減額になっているものでございます。主な減額でございますが、昨年度は消雪事業で8,000万円、道路維持改修で9,500万円あった分が減額になったものでございます。また、需用費の中で修繕費がやはり地区要望、消雪等の管理等の要望がございまして、それで495万9,000円ほど増額になったものでございます。測量費につきましては、380万円ほど減額になっております。備品購入費でございま

す。庁車購入ということで、これにつきましては、緊急対策のほうのダンプを買いたいということでこの分がふえております。また、除雪機械につきましても、14トン級を勘案しましてこの分で950万円ほどふえているものでございます。

続いて、道路新設改良費でございます。これにつきましては主なふえたものにつきましては、委託料の中で道路ストック総点検事業が3,950万円ほどふえているものでございます。また、工事請負費の中でも多少、トンネルの維持補修とかいろいろございますので、その分でふえているものでございます。また、その下の補償金につきましても、立木補償等につきましてもふえているものでございます。

土木費の河川費、河川総務費でございます。これにつきましては、主なものにつきましては委託料、竜蔵庵川につきましては測量設計委託しまして、河川を改修するという事で河川の全体を見ながら計画を立てて行うものでございます。これについての増額になっております。

続いて、土木費、都市計画費でございます。下水道費につきましては、繰出金といたしまして下水道事業特別会計への繰出金に569万円ほど増額になっております。

土木費、住宅費につきましては、工事請負費の中で昨年度工事を行いました分の1,800万円ほど減額となるものでございます。

続いて、公営住宅整備等事業費でございます。これにつきましては、委託料の管理業務委託料のふえたものと次のページ、工事請負費につきましては、今年度柳ヶ丘団地の分の工事請負費プラス独身住宅が工事請負費に入っておりますので、その分で増額になるものでございます。

消防費、消防費につきましては、需用費の中で、消耗品として消防団の防寒着につきましての増額によるものでございます。次の110ページの工事請負費の中で、住警器を全世帯、110世帯に設置するための全戸取り付け費を含めた工事請負費の増額でございます。

続いて、消防施設費でございます。これにつきましては、次のページ、工事請負費の中で防火水槽、消火栓、シャッター等につきまして420万円ほど増額を見込んだものでございます。

防災費につきましては、今年度工事請負費のデジタル防災無線の1,728万円の減額を見込んだものでございます。

教育費、教育総務費につきましては、昨年同様でございます。教育総務費でございますが、主なものにつきましては給与等の人件費に伴うものでございます。

続いて、116ページ、教育費の教育総務費、教員住宅管理費でございますが、これにつきましては、修繕費の増額を見込んだものでございます。

教育費、小学校費の柳津小学校管理費でございます。これにつきましては、昨年度エアコン3,000万円ということで計上したもので、その分の減額分になります。

西山小学校管理費につきましては、昨年同様でございます。

続いて、柳津小学校教育振興費につきましては、増額になっております。これにつきましては、学校支援の報酬等によるものでございます。また、需用費の増減によるものでございます。

西山小学校教育振興費でございます。これにつきましては、122ページにあります需用費の消耗品につきましては、増減あるということで348万1,000円ほど増額になったものでございます。

また、教育費、中学校費でございます。これにつきましても、昨年度につきましてはグラウンド整備、図書館、トイレとありましたが、今年度につきましても同じように工事請負費で給食の配膳等の施設等が改修されます。その分で369万5,000円ほど減額になっています。また、備品購入費につきましても、昨年度の図書館等の学校備品につきましては250万円ほど減額になったものでございます。

会津柳津学園中学校教育振興費でございます。これにつきましても、同じように備品購入費としましてICTの備品等につきましてふえているものでございます。

教育費の社会教育総務費でございます。これにつきましては、127ページの負担金の一番下にあります海外派遣事業の負担金がふえているものでございます。

公民館費でございます。公民館費につきましては、集会所、18番の負担金補助及び交付金につきまして200万円ほど減額になったものでございます。

文化財管理費につきましては、昨年同様でございます。

活性化施設管理費につきましても、同じようになっております。ただ、130ページの備品購入の中で、新たに木を使った、間伐材等を利用した机、椅子等を設置したいということで増額になったところでございます。

美術館管理費につきましては、人件費で1名増ということでございます。また、主にふえているものでございますが、132ページの工事請負費で、消火設備工事4,400万円ということでこの分がふえたものでございます。

美術館事業費につきましては、減額になっております。主なものにつきましては、133ペ

ージの委託料としてアートプロジェクト事業等の分で400万円ほど、また、使用料及び賃借料として減額となったものでございます。

教育費、保健体育費、保健体育総務費につきましては、会計年度任用職員等でございます。

学校給食費でございます。これにつきましては、増額になっております。これにつきましては、需用費の賄材料費として2,007万6,000円に増加になったものでございます。また、137ページ、18番の負担金補助及び交付金とありますが、学校給食費の負担金も650万円ほど減額になったものでございます。

運動公園施設管理費につきまして、昨年度減額になったものにつきましては、備品として200万円ほどの減額、工事請負費等につきましても昨年度工事した分が減額になったものでございます。

災害復旧費につきましては、昨年度と同じでございます。

公共土木施設災害復旧費につきましても同じでございますが、過年度公共土木災害復旧費につきましては、1億2,823万8,000円という形でことしにつきましては皆増となっているところでございます。

町単独災害復旧費につきましても、同じ予算で上げさせていただいております。

公債費につきましては、先ほどご説明したように1,468万4,000円ほどふえているところでございます。

続いて、公債費の利子でございます。利子につきましては、今後の見込みを立てまして減額となったところでございます。

諸支出金、取得料につきましては昨年と同じでございます。

予備費につきましては、今年につきましては379万円ほど減額させていただくということをお願いしているところでございます。

以上でございます。

続いて、153ページでございます。

議案第33号「令和2年度柳津町土地取得事業特別会計予算」でございます。

歳入歳出予算総額につきましては、2,002万6,000円と定めるものでございます。

158ページ、歳入でございます。

歳入につきまして、繰入金につきましては、昨年同様でございます。諸収入も同じでございます。一般会計から2,000万円を繰り入れまして、団地造成を考えているところでございます。

次のページ、歳出でございます。

宅地造成費ということで、今年度につきましては、2,000万円ほど上げさせていただきました。予備費につきましては、昨年同様でございます。

続いて、160ページをお開きください。

議案第34号「令和2年度柳津町国民健康保険特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ4億9,450万円とするものでございます。一時借入金につきましては、最高額につきまして事業勘定で1億円、施設勘定で1,500万円と定めるものでございます。

続いて、166ページ、歳入でございます。

国民健康保険税につきましては、今現在いる方の所得等を勘案しまして計算したものでございます。

続いて、国保の退職につきましては、2月末で退職の方がいらっしゃらなかったため、今年度につきましては計上しておりません。

国庫支出金につきましては、社会保障・税ナンバー制ということで、これについての補助金がございますので、これを上げさせておいております。

また、県支出金につきましては、昨年度同様に上げさせていただいているところです。

県支出金、財政安定化基金交付金につきましては、存目でございます。

続いて、財産収入でございます。財産運用収入、利子及び配当金につきましても、昨年同様でございます。

繰入金につきましては、昨年同様でございます。

繰入金、基金繰入金についても昨年同様、繰越金の繰越金につきましては、本年度325万6,000円ほど増額を見込んでおります。

諸収入につきましては、昨年同様でございます。

続いて170ページ、諸収入につきましても、昨年同様でございます。

歳出でございます。

総務費の一般管理費につきましては、昨年同様でございますが、人件費等によりまして額の変更になっております。また、172ページの負担金補助及び交付金につきましては、計算センター負担金が税改正等によりまして139万6,000円ほど増額になったところでございます。

続いて、総務費、徴税費、賦課徴収費でございます。これにつきましても、昨年同様でございます。

納税奨励費につきましては、額の確定によりまして減額しております。

滞納処分費につきましても、昨年同様でございます。

総務費の運営協議会費でございます。これは昨年同様でございます。

趣旨普及費として、昨年同様パンフレットを計上したところでございます。

保険給付費につきましては、昨年と同様を見込みまして変更しているところでございます。

所得によりまして一般被保険者の療養につきましては、多少ふえるのではないかとということで計算したところでございます。

続いて、審査支払手数料につきましては、昨年同様でございます。

保険給付費の一般被保険者高額療養費につきましても、昨年同様でございます。

その下の一般被保険者移送費につきましても、昨年同様でございます。

保険給付費の育児手当につきましては、同じように昨年同様に見込んでおります。

保険給付費の退職等につきましては、今年度を勘案しましてでございます。

済みません。退職の療養につきましては、今年度はいないということで皆減となりますので、よろしくお願いいたします。

178ページの国保事業の給付金でございます。これにつきましても、昨年度を鑑みながら減額したところでございます。

国保税の納付金につきましても、県のほうで医療分、2番目に後期高齢分、介護分ということで納付金の確定がございますので、それに伴いまして見込みを考えて算定したところでございます。

特定健診医療事業費につきましては、昨年までの現状を考えて予算計上したところでございます。

続いて、180ページでございます。

疾病予防費等につきましては、昨年と同様でございます。

諸支出金につきましても、昨年度状況を鑑みて同様でございます。

続いて、繰出金でございます。繰出金につきましては306万5,000円ほど減額しておりますが、繰出金としてへき地の直診費の補助金の繰出金に1,000万円、国保の施設勘定に357万5,000円ほど繰り出してございます。

予備費につきましては、644万1,000円ほど増額となっております。

続いて、施設勘定になります。

194ページをお開きください。

歳入でございます。

診療収入でございます。昨年度の収入を見込みまして多少減額しております。

その他の収入につきましても、同じように今年度の状況を見まして減額したところがございます。

手数料につきましては、存目でございます。

財産収入の財産売払収入につきましては、存目でございます。

繰入金、繰入金、一般会計繰入金につきましては、一般会計からの繰り入れを計上しております。

特別会計繰入金につきましては、特別会計分の繰入金ということで306万5,000円ほど減額を見込んでおります。

繰越金、繰越金でございます。これにつきましては、前年度繰越金ということで495万6,000円の減額を見ております。

続いて、197ページ、歳出でございます。

総務費、施設管理費、一般管理費でございます。主なものにつきましては、199ページでございます。昨年度につきましては医師住宅を見込んでおりましたが、工事請負費のところでは1,200万円ほど減っておりますので、その工事請負費の減額となります。

医薬費につきましては、医薬機器につきましてレントゲンの機械が耐用年数を超えておりますので、その分の機器の購入費でございます。

予備費として、昨年同様にとらせていただいております。

続いて、209ページでございます。

議案第35号「令和2年度柳津町後期高齢者医療特別会計予算」でございます。

歳入歳出予讃の総額をそれぞれ5,630万円と定めるものでございます。

歳入でございます。

214ページをお願いしたいと思います。

後期高齢者医療保険料につきましては、昨年度の予算と現年度を見まして保険料を算定しているところでございます。

使用料及び手数料につきましては、昨年同様でございます。

繰入金といたしまして事務繰入金を69万3,000円ということで増額を見込んでおります。

次ページでございます。

保険基盤安定繰入金でございます。これは昨年同様を見込んでおります。

諸収入、延滞金から保険料還付金、雑入までにつきましては、昨年同様でございます。

繰越金としまして、昨年同様の金額を見込んでおります。

続いて、歳出でございます。

総務費の一般管理費でございます。これにつきましては、昨年同様の事業ということで同じように見込んでおります。

徴収費につきましては、昨年よりも若干減らしたいということでございます。

広域連合納付金につきましては、来年度につきましては473万2,000円ほど増額を見込んでおりますので、これについて増額を見込んでおります。

諸支出金につきましては、昨年同様でございます。

続いて、繰出金でございます。昨年同額を見ております。

予備費につきましては、昨年同額程度を見込んでいるところでございます。

続いて、228ページをお開きください。

議案第36号「令和2年度柳津町介護保険特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ5億5,000万円と定めるものでございます。

続いて、歳入でございます。

235ページをお開きください。

本年につきましても、介護保険料につきましては、今年度予測をしまして減額を見込んでおります。

手数料等につきましても、昨年同様でございます。

国庫負担金につきましては、現年度分の介護納付の負担金の増額を見込んでいるところでございます。

続いて、国庫補助金の調整交付金につきましては、現年度分の調整交付金がふえるということを見込んでおります。

地域支援事業、地域支援事業その他の事業につきましては、減額を見込んだところでございます。

支払基金交付金でございます。これにつきましても、569万円の増額でございますが、今年度と同じように増額を見込んでおります。

その下、支払基金交付金の地域支援事業交付金につきましては、昨年度よりも減額という形で見込んでいるところでございます。

県支出金の介護給付費負担金につきましては、同じように増額を見込んでいるところでござ

ございます。

県支出金、県補助金につきましては、地域支援から地域包括システムにつきましては減額を見込んでいるところでございます。

財産収入につきましては、昨年同様でございます。

繰入金につきましては、一般会計繰入金ということで、介護の繰入金として254万円の増額、低所得者の保険料の軽減繰入金としては300万円ということで増額を見込んでいるところでございます。

続いて、繰入金の一般会計のその他の一般会計から地域支援事業につきましては、減額を見込んでおります。

繰越金につきましては、前年度よりも270万8,000円ほど減額を見込んでおります。

続いて、諸収入でございます。諸収入につきましては、昨年同様を見込んでいるところでございます。

続いて、歳出でございます。

一般管理費につきましては、人件費の増によるものでございます。

続いて、総務費の介護認定審査会費につきましては、今年につきましては昨年度よりも減額を見込んでおります。同じく、介護認定調査等費も同じようでございます。

居宅介護サービスにつきましては、1,360万8,000円ということで、減るということで想定しております。

特別居宅サービスにつきましては増額、施設介護サービスにつきましては増額を見込んでいるところでございます。

また、一番下の地域密着型サービスにつきましても、ふえるということで増額を見込んでいるところでございます。

次のページ、特例地域密着サービスにつきましては、昨年同額でございます。

保険給付費の高額サービスでございます。高額サービスにつきましては、減額を見込んでいるところでございます。

続いて、保険給付費の特定入居サービス費でございますが、特定入居サービス費につきましては増額を見込んでいるところでございます。

介護サービス諸費につきましても、同じように増額を見込んでいるところでございます。

次の246ページ、保険給付費の介護予防サービス等諸費でございます。これにつきましては、地域密着型のサービス給付費が少なくなるということで減額を見込んだところでござい

ます。

その他諸費ということで、審査支払手数料につきましては、今年度同様を見込んでおります。

地域支援事業費の包括的・任意事業につきましては、昨年同様でございます。

続いて、地域支援事業費の認知症につきましては昨年同様でございます。

その下の生活支援体制整備事業費につきましては、昨年よりも事業が変わるということで減額を見込んでおります。

地域ケア会議推進事業等につきましては、昨年同様でございます。

続いて、地域支援事業費の介護予防・生活支援サービス事業費でございます。これにつきましては、サービスの今年度までの現況を見ながらということで減額を見込んでいるところでございます。

予防マネジメントにつきましても、同じでございます。

地域支援事業費、一般介護予防事業費につきましては、昨年同様でございます。

続いて、地域支援事業費、その他諸費につきましても、昨年同様でございます。

基金積立金につきましては、59万1,000円ほど減額となります。

諸支出金の償還金及び還付加算金につきましては、昨年同様を見込んでおります。

諸支出金、繰入金についても、昨年同様でございます。

予備費につきましては、今年度につきましては639万3,000円ほど減額を見込んでいるところでございます。

続いて、260ページでございます。

議案第37号「令和2年度柳津町簡易水道事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ1億7,630万円と定めるものでございます。

265ページでございます。

歳入、分担金及び負担金でございます。これにつきましては、水道加入負担金の増を見込んでいるところでございます。

使用料及び手数料につきましては、今現在の使用料を見込んでおります。見込みとしまして、来年度につきましても減額を見込んでいるところでございます。

使用料及び手数料につきましては、昨年よりもふえるということでございます。

続いて、財産収入でございます。利子及び配当金につきましては、昨年同様でございます。

繰入金につきましては、1,905万2,000円ほど一般会計からの繰入金の増額を見込んでいる

ところでございます。また、基金繰入金ということで100万円の繰入金を見込んでおります。

繰越金につきましては、昨年同様でございます。

諸収入につきましては、消費税の還付がないということで昨年と同様に見込んでおります。

延滞金につきましては、昨年同様でございます。

続いて、歳出でございます。

歳出につきましては、昨年同様の金額でございます。ただ、職員が1名足りなかったというもので、1名増の予算でございます。

公債費につきましては、元金公債費につきましては1,441万4,000円の増額、また、利子につきましては減額を考えているところでございます。

予備費につきましては、昨年度よりも1万6,000円ほど減額計上しているところでございます。

続いて、280ページです。

議案第38号「令和2年度柳津町町営スキー場事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ341万円と定めるものでございます。

285ページをお開きください。

歳入でございます。

繰入金で昨年度よりも622万円ほど減額となっております。

繰越金につきましては、昨年同様、雑入につきましても昨年同様でございます。

続いて、歳出でございます。

スキー場事業費でございます。これにつきましては、昨年度、施設解体の委託料として622万6,000円とありましたので、今年度はありませんのでその差額になります。

予備費につきましては、昨年同様でございます。

続いて、287ページです。

議案第39号「令和2年度柳津町農業集落排水事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ8,070万円と定めるものでございます。

292ページをお開きください。

歳入でございます。昨年同様を見込んでおります。

使用料及び手数料でございますが、昨年同様でございますが、減額を見込んでおります。

手数料につきましても、昨年同様を見込んでおります。

続いて、財産収入の利子及び配当金につきましては、昨年同様でございます。

繰入金につきましては、570万2,000円ほど一般会計から減額の繰り入れを計上しております。基金繰入金につきましては、本年度ございません。

繰越金につきましては、昨年同様でございます。

諸収入につきましては、また、雑入につきましても昨年同様でございます。

歳出でございます。

歳出につきましては、減額になっているところでございますが、工事請負費が前年度、下水道の接続工事等いろいろ1,200万円ほどありましたので、その分の差額になるものでございます。

続いて、公債費につきましては、利子等につきましては昨年同様でございます。

予備費につきましては、昨年度よりも減額になっているところでございます。

続いて、307ページでございます。

議案第40号「令和2年度柳津町下水道事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ7,750万円と定めるものでございます。

312ページをお開きください。

歳入でございます。

加入負担金につきましては、昨年同様を見込んでおります。

使用料及び手数料、公共下水道排水施設使用料につきましても、前年度を鑑みながら226万円ほどの減額を想定しております。

手数料につきましては、昨年同様でございます。

続いて、財産収入でございますが、昨年同様でございます。

繰入金の一般会計繰入金につきましては、昨年度よりも569万円ほど増額となっております。

基金繰入金は、下水道整備基金繰入金により455万円ほど皆増になるものでございます。

繰越金につきましては、昨年同様でございます。

諸収入につきましても、昨年同様でございます。

雑入につきましては、昨年度、下水道の除籍がございましたが、その分で減額となるものでございます。

歳出でございます。

総務費、総務管理費、施設管理費でございます。これにつきましては、人件費等の増額等でございます。また、工事請負費につきましては、下水道の接続工事が1件ございますのでそ

れを見込んだ増額になっております。

続いて、公債費でございます。元金につきましては増額、利子につきましては減額という形で考えているところでございます。

予備費につきましては、35万7,000円ほど減額を計上しております。

続いて、簡易排水事業特別会計でございます。

議案第41号「令和2年度柳津町簡易排水事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ220万円と定めるものでございます。

332ページでございます。

歳入でございます。

使用料は、昨年同様見込んでおります。

繰入金につきましては、10万円ほど増額を見込んでおります。

繰越金につきましては、昨年同様でございます。

諸収入、雑入につきましても、昨年同様を見込んでいるところでございます。

続いて、歳出でございます。

総務費、総務管理費でございます。これにつきましては、昨年同様を見込んでいるところでございます。

公債費につきまして、元金につきましては増額、利子につきましては減額を見込んでいるところでございます。

予備費でございます。予備費につきましては、1万1,000円の増額を見込んでいるところでございます。

続いて、337ページです。

議案第42号「令和2年度柳津町林業集落排水事業特別会計予算」でございます。

総額を歳入歳出それぞれ280万円と定めるものでございます。

342ページをお開きください。

歳入でございます。

加入負担金、1名を見込んでいるところでございます。昨年と同様でございます。

使用料及び手数料につきましても、昨年同様でございます。多少増額を見込んでいるところでございます。

一般会計繰入金につきましては、昨年よりも2万1,000円ほど減額を見込んでいるところでございます。

続いて、繰越金と延滞金、雑入につきましては、昨年同様でございます。

続いて、歳出でございます。

総務費、総務管理費の施設管理費でございます。前年同様の予算を見込んでいるところ  
でございます。

公債費につきましても、同じように昨年同様を見込んでいるところでございます。

予備費につきましては、3万7,000円ほど減額を見込んでいるところでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議をお願いいたします。

○議長

昼食を大幅に延長しております。ご容赦のほど願います。

これから質疑に入りますが、この総括質疑におきましては、ただいま説明のありました令和2年度予算の全般的な事項について、基本的には款、項、目までとし、節以下については、あすからの予算特別委員会で質疑を行いたいと思いますので、ご協力のほどお願いいたします。

それでは、これより質疑を許します。

(「質疑なし」という声あり)

○議長

これで質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第32号から議案第42号までの令和2年度柳津町歳入歳出予算については、議員10名で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議案第32号から議案第42号、令和2年度柳津町歳入歳出予算については、予算特別委員会に付託して審査することに決定いたしました。

予算特別委員会の正副委員長の互選であります。議長において指名することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、議長において指名することに決しました。

それでは、指名いたします。

予算特別委員会委員長に総務文教常任委員長の田崎信二君、副委員長に産業厚生常任委員長の齋藤正志君を指名いたします。

なお、本予算審査に当たり、町長、副町長、教育長、課長等及び班長の出席を求めます。

◇

◇

◇

◎休会の議決

○議長

お諮りいたします。

本日、これより3月10日午前10時までを予算審査のため休会としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本日、これより3月10日午前10時までを休会とすることに決定しました。

◇

◇

◇

◎散会の議決

○議長

お諮りいたします。

本日はこれをもって散会いたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長

異議なきものと認めます。

よって、本日はこれをもって散会いたします。

なお、あしたからの予算特別委員会は本会議場において午前9時から行います。

長時間にわたり大変お疲れさまでございました。(午後0時54分)